

1 和文書体についての専門知識

次の1~10の各書体名を下のA~Jから選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- | | | | |
|----------------------------|-----------|------------------|----------|
| 1. 世界の祝祭 | J. 勘亭流 | 6. 奇跡の逆転 | C. 明朝体 |
| 2. 人気の種目
(人気の種目) | H. 草書体 | 7. 世紀の対決 | I. 宋朝体 |
| 3. 家族の応援 | D. 丸ゴシック体 | 8. 国際化の波 | E. 新聞明朝体 |
| 4. 観戦の機会 | B. 楷書体 | 9. 王者の称号 | F. 隷書体 |
| 5. 悲願の勝利 | G. 行書体 | 10. 選手の功績 | A. ゴシック体 |

- A. ゴシック体 B. 楷書体 C. 明朝体 D. 丸ゴシック体 E. 新聞明朝体 F. 隷書体
G. 行書体 H. 草書体 I. 宋朝体 J. 勘亭流

3 専門用語の理解

次の1~10の文章の□にあてはまる最も適切な語句を下のA~Zから選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- | | |
|---|------------------|
| 1. かなやアルファベットは□文字である。 | C. 表音 |
| 2. 本の切断面を□という。 | X. 小口 |
| 3. □を上げるため、背景と明度差をつけて文字を見つけやすくした。 | K. 視認性 |
| 4. カラー印刷で深みのある黒を表現するために□を設定した。 | P. リッチブラック |
| 5. 欧文書体のデザインで、文字間調整の左右のアキのことを□という。 | G. サイドベアリング |
| 6. 写真や図版の不要な部分を□して、印刷原稿に用いた。 | S. トリミング |
| 7. 広告にはメッセージやイメージを明確を伝えるための□が必要だ。 | U. コンセプト |
| 8. 赤字の修正を確認するために□の出力を依頼した。 | F. 再校 |
| 9. それぞれの文字ごとに最適な文字の横幅を設定したフォントのことを□という。 | J. プロポーションalfont |
| 10. 一般的な新聞紙の半分の大きさで、夕刊紙や専門紙などに多く使われる判型を□判という。 | R. タブロイド |

- A. 表意 B. のど C. 表音 D. 等幅フォント E. カウンター F. 再校 G. サイドベアリング
H. 判読性 I. キャプション J. プロポーションalfont K. 視認性 L. 刷版 M. 責了
N. プロセスカラー O. 四六 P. リッチブラック Q. 可読性 R. タブロイド S. トリミング
T. カーニング U. コンセプト V. 象形 W. 背 X. 小口 Y. UDフォント Z. コピーライト

2 欧文書体についての専門知識

次のA~Jの各書体名を、下の1~10から選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| A. 2Play | 6. フーツラ |
| B. 2Play | 7. オプティマ |
| C. 2Play | 8. ブロードウェイ |
| D. 2Play | 5. ブラッシュスクリプト |
| E. 2Play | 1. クーパーブラック |
| F. 2Play | 4. フルティガー |
| G. 2Play | 10. フリッツクアドラ |
| H. 2Play | 9. ユニバース |
| I. 2Play | 3. ボドニー |
| J. 2Play | 2. ガラモン |

1. クーパーブラック 2. ガラモン
3. ボドニー 4. フルティガー
5. ブラッシュスクリプト 6. フーツラ
7. オプティマ 8. ブロードウェイ
9. ユニバース 10. フリッツクアドラ

解答欄

1

1	J
2	H
3	D
4	B
5	G
6	C
7	I
8	E
9	F
10	A

2

A	6
B	7
C	8
D	5
E	1
F	4
G	10
H	9
I	3
J	2

3

1	C
2	X
3	K
4	P
5	G
6	S
7	U
8	F
9	J
10	R

受検番号 - -

氏名

学校・団体名 (個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

得点	<input type="text"/>
合否	<input type="text"/>

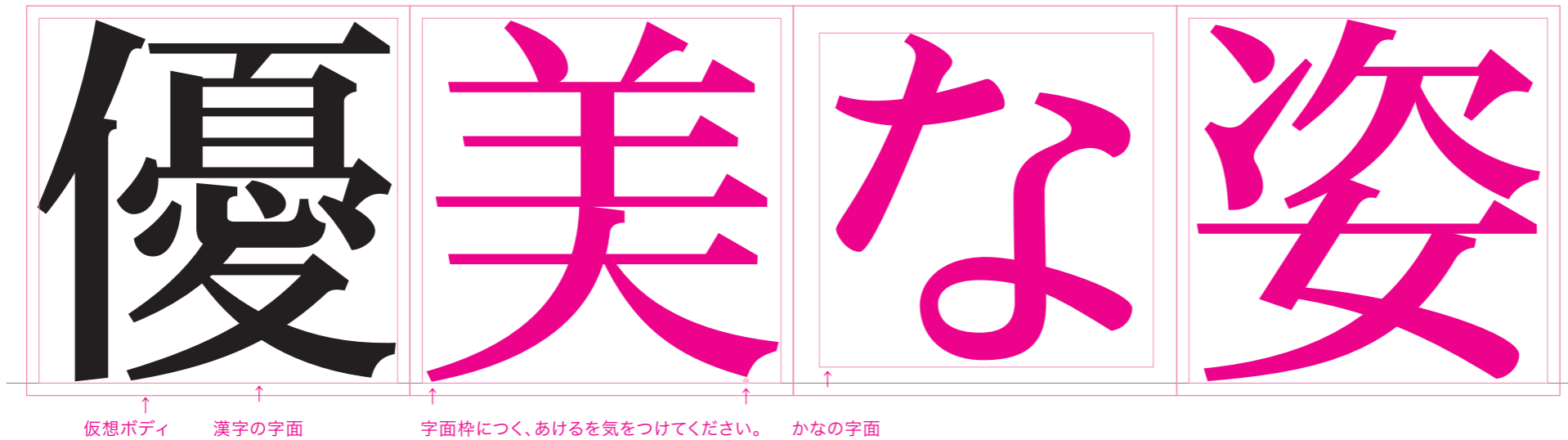
4 和文指定書体表現

「優美な姿」を、見本の「優」に合わせて、「美な姿」を続けて書いて完成させてください。

- 書く文字は「優」に続けて「美な姿」の3文字。
- カギカッコは不要。
- 書体・大きさ・ウエイト・エレメントなどは、「優」に合わせること。
- 「優」を含む左右寸法は、おおよそ250mm以内に収めること。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように仕上げること。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。

漢字ベタ、かな組みで特にツメずにベタ組みがよさそうです。

下書きの線は仕上げ後に消すこと。



受検番号 -

氏名

学校・団体名 (個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

評価	<input type="text"/>
----	----------------------

チェック項目 (採点者用)

- 誤字・脱字
- 骨格バランス 重心、よりひき、ふところの広さ
- 大きさ 漢字、かなの大きさのバランス
- エレメント 見本エレメントの理解、統一
- ウエイト 太さの統一、画数、交点の濃度調節
- スペーシング 文字間の調整
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合 将来性

5 欧文指定書体表現

「Bound」を、見本の「Bo」(ヘルベチカ・ボールド)に合わせて、「und」を続けて書いて完成させてください。

- 書く文字は「Bo」に続けて「und」の3文字。
- カギカッコは不要。
- 「Bo」を含む左右寸法は、おおよそ210mm以内に収めること。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように仕上げること。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。

C.L、M.L、B.Lのラインシステムを設定してから始めます。このスペルのスペーシングはそれほど難しくありません。同じエレメントはトレーシングペーパーを使いましょう。

下書きの線は仕上げ後に消すこと。



受検番号 - -

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

評価	<input type="text"/>
----	----------------------

チェック項目 (採点者用)

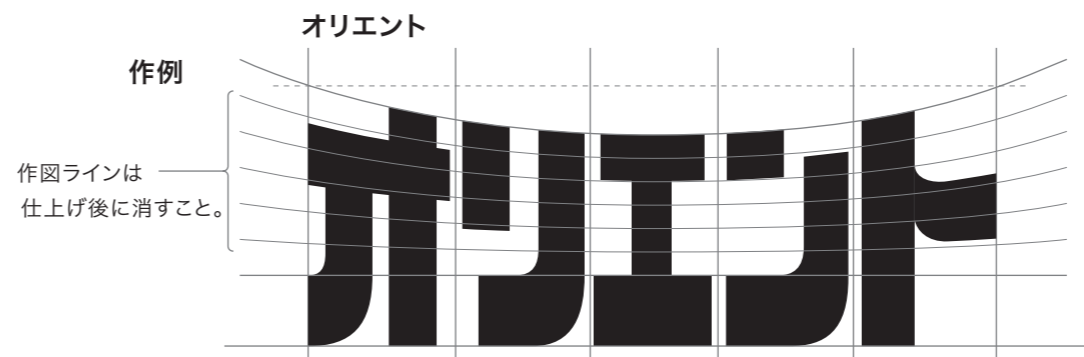
- 誤字・脱字
- 形・大きさ フローポーション(天地左右比) エックスハイト、オーバーシュート
- バランス 重心、ふところの広さ
- エレメント ヘルベチカ固有の エレメントの理解、統一
- ウェイト 太さの統一、濃度の調整
- スペーシング 文字間の調整
- ラインシステム ラインシステムの理解
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合 将来性

検 Y T K S N

6 書体造形および構成

「グランプリ」を、作例のように作図ラインに合わせて、スケール感のあるロゴタイプを完成させてください。

- 書く文字は、「グン」に合わせて「ラ プリ」の3文字。
- カギカッコは不要。
- 大きさ・ウエイト・エレメントなどの書体の特徴は「オリエント」ではなく「グン」に合わせること。
- 「グ」を含む左右寸法は、おおよそ200mm以内に収めること。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように仕上げること。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。



受検番号 - -

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

評価	
----	--

チェック項目 (採点者用)

- 誤字・脱字
- 骨格バランス 骨格、バランス、重心、ふところの広さの観察、理解
- 大きさ 文字の天地左右比 固有の形を持つ文字
- エレメント エレメントデザインの理解、統一
- ウエイト 太さの統一
- スペーシング 文字間の調整
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合 将来性

1 字体の理解

次のA～Eの文章の中に、誤字がそれぞれ2個ずつあります。右の解答欄の該当する箇所にその番号を記入してください。

- A. 彼は源氏物語の新しい解釈を受け入れた。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
源 釈
- B. 世界中を敵に回しても絶対に私は味方だ。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
絶 味
- C. 適量の酒は百薬の長だが、飲みすぎは健康を損なう
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
酒 損
- D. 女は苦痛と恐怖で泣き出しそうな声で電話した。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
痛 電
- E. 事件の捜査は意外な方面に進展した。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
捜 展

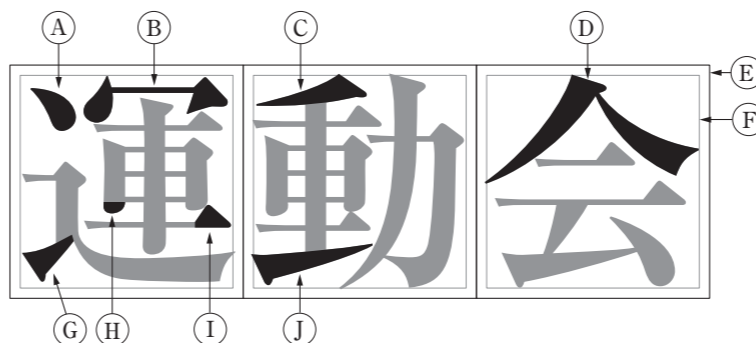
3 デザイン用語、用具、用法の理解および基本的な書体に関する知識

次の1～10の文章の□にあてはまる最も適切な語句を()の中から選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- 「ピクニック」という語には□が含まれている。(A.濁音 B.促音 C.拗音)
- ふりがなをつけることを「□をふる」という。(A.ルビ B.濁点 C.ノンブル)
- 欧文書体の細いセリフは□セリフという。(A.ブラケット B.スラブ C.ヘアライン)
- 鉛筆に付いているHやBの記号は、芯の□と硬さを指す。(A.濃さ B.太さ C.彩度)
- 新書や文庫などに用いるソフトカバーの本を□という。(A.上製本 B.並製本 C.高級製本)
- 文の前後につける符号の一つで、‘ ’を□という。(A.クォーテーションマーク B.コンマ C.アポストロフィ)
- タイトルに用いる見出し書体を□という。(A.キャッチフレーズ B.ディスプレイタイプ C.ロゴタイプ)
- 斜体にした欧文書体で、文字の形が変わるものを□という。(A.ローマン体 B.オブリーク体 C.イタリック体)
- 現在の製紙技術は□によって改良され、日本に伝わった。(A.蔡倫 B.グーテンベルク C.ウィリアム・モリス)
- 同じコンセプトで統一された骨格とエレメントをもつ書体で、段階的に太さが異なるグループを□という。(A.ファミリー B.グラデーション C.ポイント)

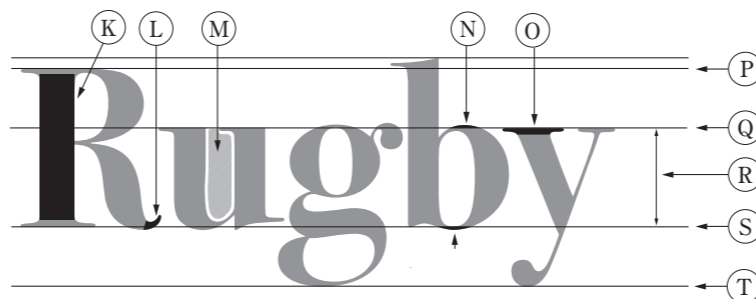
2 部首、部分、エレメントの理解

a. 次の明朝体の黒塗り部分と枠(わく)、部首の名称(A～J)を下用の用語の中から選び、その番号を右の解答欄に記入してください。



- ささえ 2. 字面 3. わかんむり 4. あし(げた) 5. やねかんむり 6. しんによろ
- 左はらい 8. かどうろこ 9. 上はらい 10. 仮想ボディ 11. うろこ 12. てん

b. 次の欧文の矢印で示した部分とラインなど(K～T)の名称を下用の用語の中から選び、その番号を右の解答欄に記入してください。



- キャップハイト 2. ベースライン 3. エックスハイト 4. オーバーシュート
- ステム 6. キャップライン 7. セリフ 8. カウンター 9. テール
- ターミナル(ケルン) 11. デイセンドーライン 12. ミーンライン

解答欄

1 アルファベット枠内順不同

A	2
	8
B	6
	9
C	3
	10
D	3
	9
E	3
	10

2

A	12	K	5
B	3	L	9
C	7	M	8
D	5	N	4
E	10	O	7
F	2	P	6
G	1	Q	12
H	4	R	3
I	11	S	2
J	9	T	11

3

1	B
2	A
3	C
4	A
5	A
6	A
7	B
8	C
9	A
10	A

受検番号 □□□□ - □□□□

氏名 □□□□ □□□□

学校・団体名(個人受検者は記入不要)
□□□□□□□□□□

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

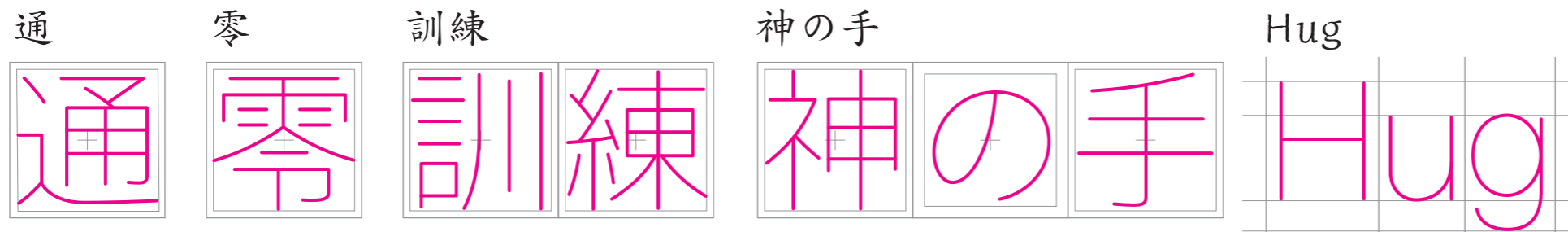
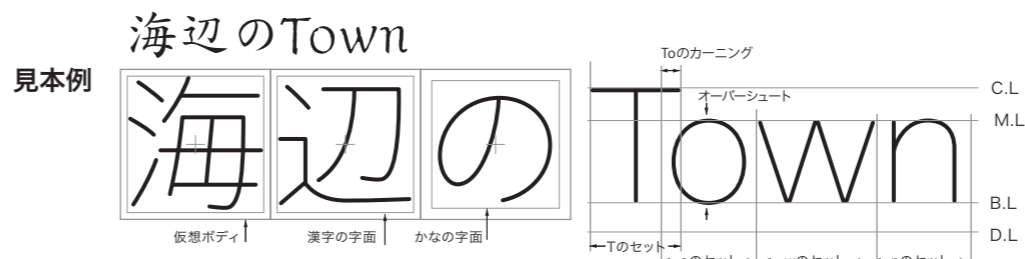
得点	
合否	

検

4 フリーハンドによる字体表現

a. 下に示した文字を、見本例のように基本書体のゴシック体(英文はヘルベチカ)の骨格で書いてください。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の黒の筆記具を使用。
- フリーハンドが基本だが定規の使用は自由。
- 修整は自由。
- 文字の下書きは、必ず消しておくこと。



b. 下に示した文を、見本例のように基本書体のゴシック体の骨格で書いてください。見出し用として、漢字同士はベタ組み、かなを少しツメてスペーシングしてください。

※文字割り線は、鉛筆で書いて消さないで残してください。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の黒の筆記具を使用。
- フリーハンドが基本だが定規の使用は自由。
- 修整は自由。
- 文字の下書きは、必ず消しておくこと。



文字の下書きの線は仕上げ後に消すこと。
 文字割りをしないで書かれた答案が多く見られたので
 3級字体表現では文字割り線(鉛筆)を残します。

ファンの応援で大逆転



受検番号 -

-

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

得点	/ 40
合否	

チェック項目(採点者用)

- 誤字・脱字
- バランス 重心、ふところの広さ
- 大きさ 漢字、かな、促音の大きさのバランス
ボディ枠、字面枠の理解
- スペーシング 文字間の調整
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合

検 Y T K S N

5 和文基本書体表現

「勝者の涙」を、見本の「の涙」(明朝体)に合わせて、「勝者」を枠の中に書いて完成させてください。

- 書く文字は「の涙」の前に「勝者」の2文字。
- カギカッコは不要。
- 書体・大きさ・ウエイト・エレメントなどは、「の涙」に合わせること。
- 枠は仮想ボディと字面(じづら)で、ベタ組みです。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように仕上げること。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。



受検番号 -

-

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここからは何も記入しないこと。

評価	<input type="text"/>
----	----------------------

チェック項目(採点者用)

- 誤字・脱字
- バランス 重心、ふところの広さ
- 大きさ 大きさ、枠に対する付き、離れ
- エレメント エレメントの理解、統一
- ウエイト 太さの統一、濃度の調整
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合

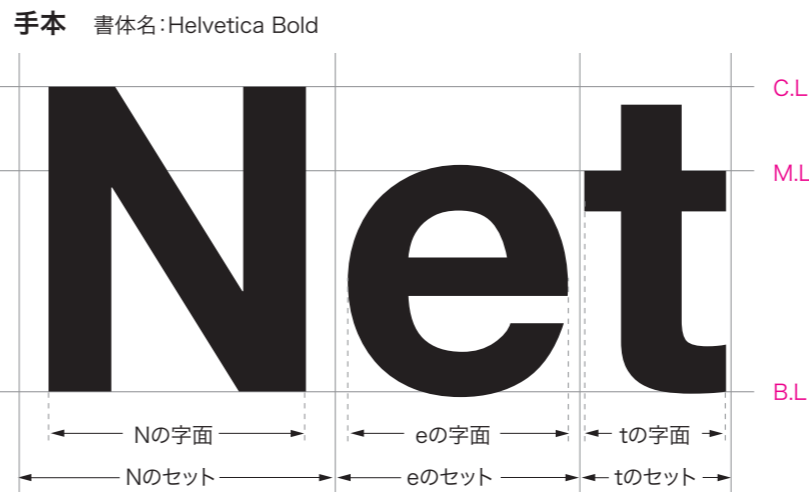
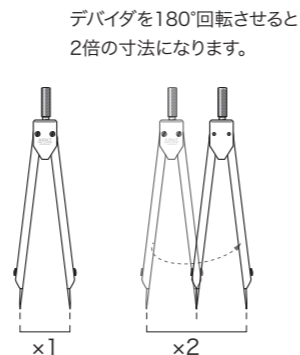
6 欧文基本書体の拡大視写

右の手本「Net」の「N t」を、下のライン上に拡大視写してください。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。

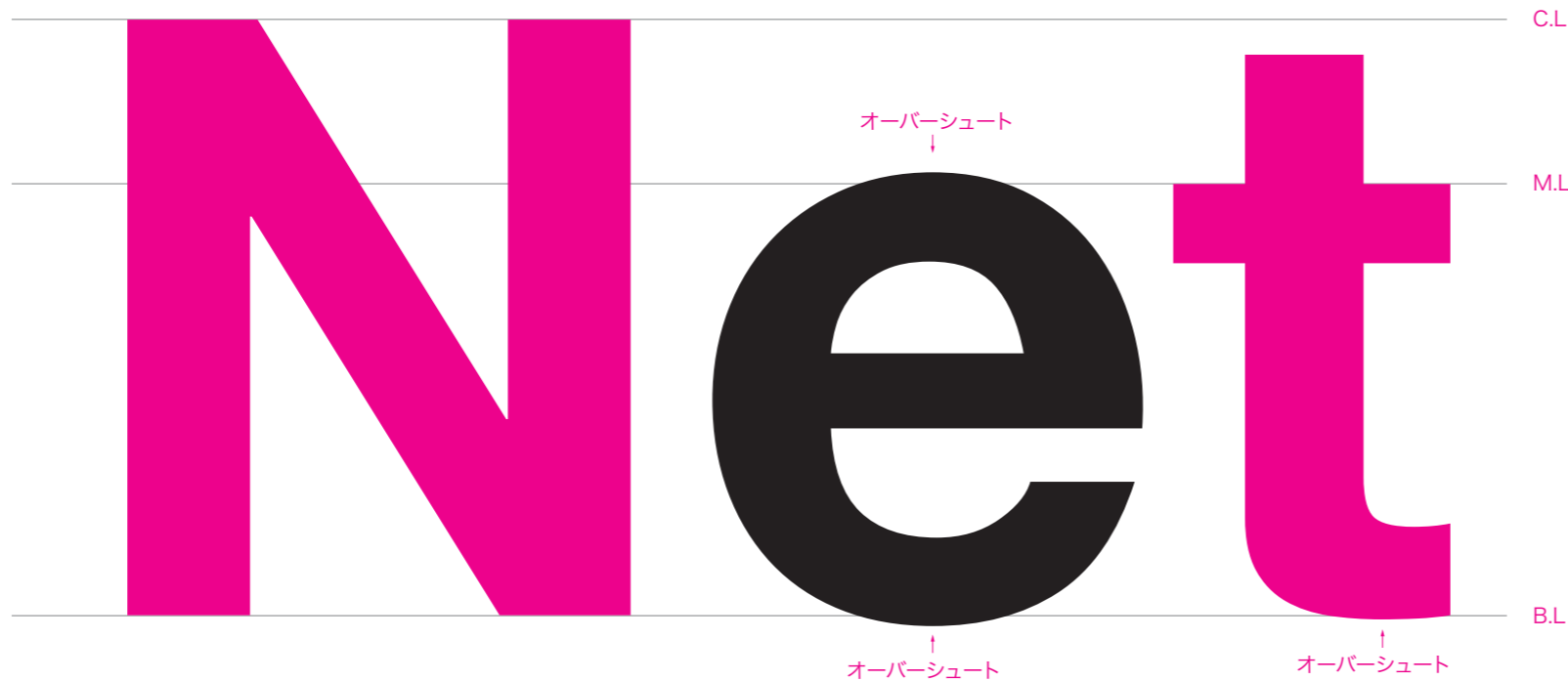
★ 次のヒントを参考にしてください。

- ① はじめは、ライン上におおまかに鉛筆デッサンしてみましょう。
- ② 手本の2倍の拡大視写なのでデバイダ(コンパスでも代用できます)で2倍寸にして、位置、幅、太さを確認すればこまかいマス目の分割は不要です。
- ③ 直線、水平線、垂直線、平行線は必ず三角定規を使いましょう。



Ne, et間のスペーシングの再現とNの斜め線の太さに注意。

下書きの線は仕上げ後に消すこと。



受検番号 []-[]

[]-[]

氏名 []

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

[]

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

評価	
----	--

チェック項目 (採点者用)

- 誤字・脱字
- ラインシステム 基本ラインの理解
- バランス 重心、ふところの広さ
- 大きさ ラインに対して付く、出すオーバーシュート
- ウェイト 太さの統一、たて線、横線の太さ
- スペーシング Ne, et間のスペーシング
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合

検 Y T K S N

1 字体の理解

次のA~Jの語句に誤字が一つずつあります。その番号を右の解答欄に記入してください。

- | | |
|--|--|
| A. ¹ ライ ² オン ³ オ | F. ¹ 明 ² 鏡 ³ 土 ⁴ 水 止 |
| B. ¹ 天 ² 衣 ³ 無 ⁴ 縫 縫 | G. ¹ 臨 ² 機 ³ 応 ⁴ 変 機 |
| C. ¹ 前 ² 代 ³ 未 ⁴ 聞 聞 | H. ¹ 五 ² 里 ³ 霧 ⁴ 中 霧 |
| D. ¹ 不 ² 協 ³ 和 ⁴ 音 不 | I. ¹ 喜 ² 怒 ³ 哀 ⁴ 楽 哀 |
| E. ¹ 粉 ² 骨 ³ 碎 ⁴ 身 骨 | J. ¹ 突 ² 然 ³ 変 ⁴ 異 然 |

2 書体の理解

次の1~10の各書体で、基本書体の明朝体とゴシック体(丸ゴシック体も含む)には○印を、その他の書体には×印を右の解答欄に記入してください。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| ○ 1. 運動の秋
丸ゴシック | ○ 6. 期待の星
細明朝 |
| × 2. 熱い応援
デザイン書体(タイポス) | × 7. 活躍の姿
勘亭流 |
| ○ 3. 才能の塊
太明朝 | × 8. 世界の国
楷書 |
| ○ 4. 歓喜の声
細ゴシック | × 9. 挑戦の心
隷書 |
| × 5. 大会の華
宋朝 | ○ 10. 花の贈呈
太ゴシック |

解答欄

1	A	3
	B	4
	C	4
	D	1
	E	2
	F	3
	G	2
	H	3
	I	3
	J	2

受検番号 - - - -

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここからは何も記入しないこと。

2	1	○
	2	×
	3	○
	4	○
	5	×
	6	○
	7	×
	8	×
	9	×
	10	○

得点	<input type="text"/>
合否	<input type="text"/>

3 基礎知識および用具、用材、用法の理解

次の1~10の文章の□にあてはまる最も適切な語句を()の中から選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- 同じ太さの横線とたて線では、たて線の方が□見える。(A.太く B.細く)
- 一般の社会生活では□が使用の目安とされる。(A.常用漢字 B.教育漢字)
- 欧文の大文字のことを□という。(A.キャピタルレター B.イニシャル)
- 和文書体がデザインされる正方形の枠を□とよぶ。(A.ベースライン B.仮想ボディ)
- カラス口は□で砥ぐとよい。(A.オイルストーン B.トレーシングペーパー)
- 化学パルプを原料とする白色で硬い上質紙を□という。(A.ケント紙 B.板紙)
- 表紙やブックカバーなど本の外観をデザインすることを□という。(A.装丁 B.製本)
- 雲型定規を用いて、□で曲線を描いた。(A.カラス口 B.筆)
- 「海」(うみ)や「空」(そら)は□である。(A.音読み B.訓読み)
- 校正で印刷物の□を発見した。(A.誤植 B.字面)

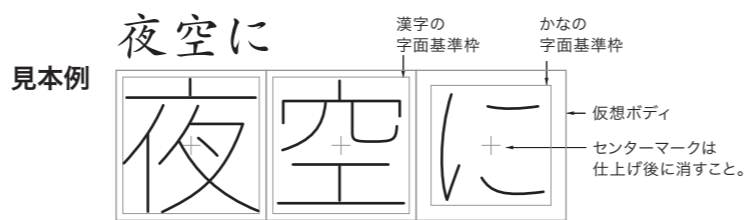
3	1	B
	2	A
	3	A
	4	B
	5	A
	6	A
	7	A
	8	A
	9	B
	10	A

検

4 フリーハンドによる字体視写

下に示したA、B、Cを、それぞれの枠(わく)の中に、フリーハンドで、見本例のように基本書体(ゴシック体)の骨格で、拡大視写してください。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の黒の筆記具を使用。
- フリーハンドが基本だが定規の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。



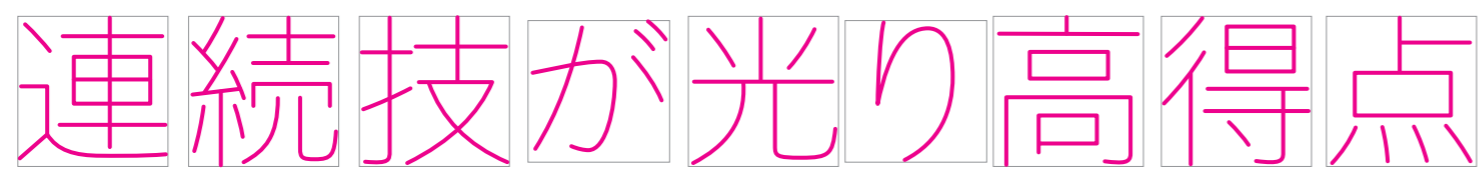
★ 枠(わく)は漢字、かなのそれぞれの字面基準枠です。
仮想ボディは消してあります。

A 記録を更新

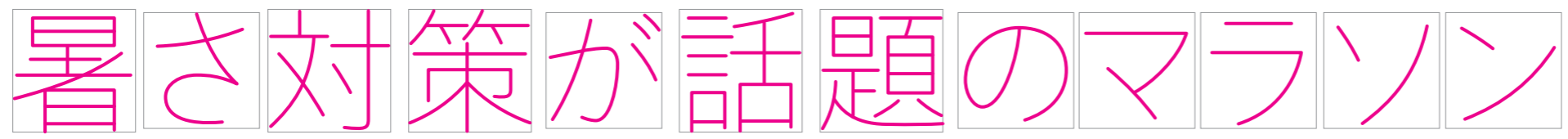


普段書いている楷書や教科書体と基本書体では骨格が変化することに注意。
短い「てん」や「はらい」が直線にならないようまた曲がりすぎないように注意。
下書きの線は仕上げ後に消すこと。

B 連続技が光り高得点



C 暑さ対策が話題のマラソン



受検番号 - -

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここからは何も記入しないこと。

評価	
----	--

チェック項目(採点者用)

- 誤字・脱字
- バランス 重心、ふところの広さ
- 大きさ 漢字、かな、促音の大きさのバランス
ボディわく、字面枠の理解
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合

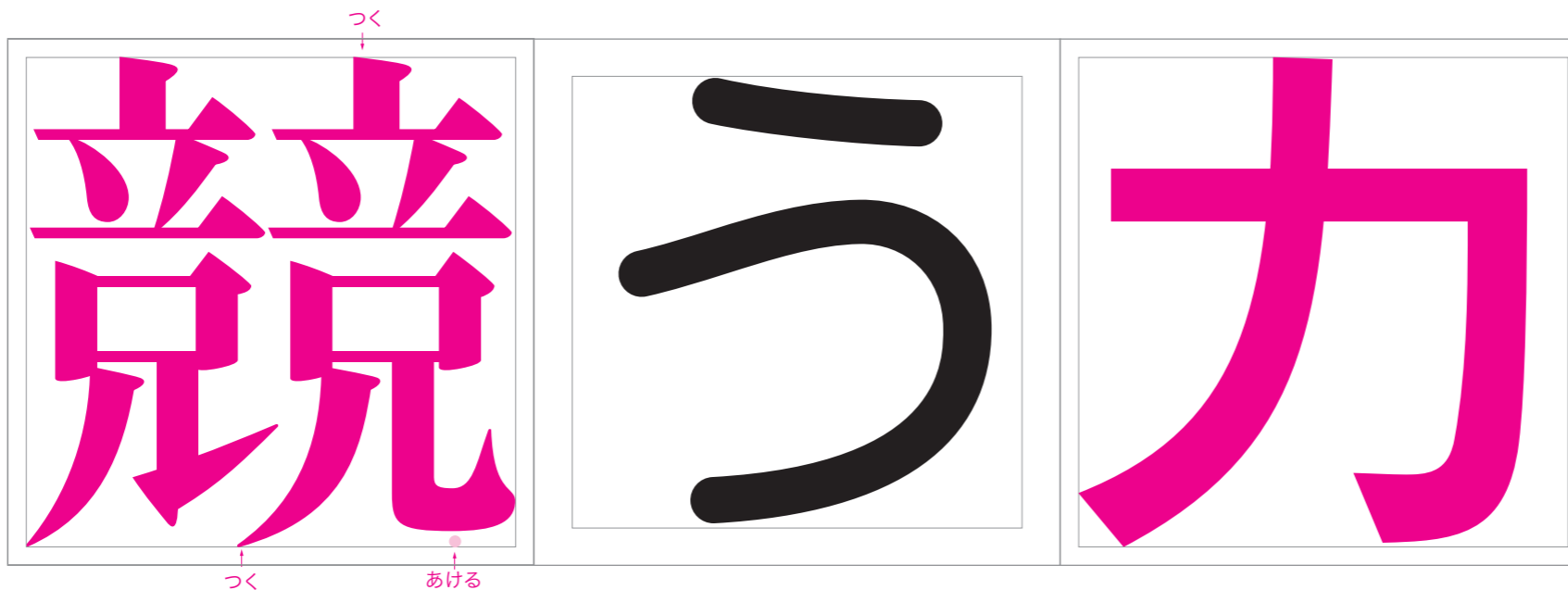
5 和文基本書体の拡大視写

右の手本「競う力」の「競、力」を、下の枠(わく)の中に拡大視写してください。

- 書く文字は「競」(明朝体)、「力」(ゴシック体)の2文字。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように仕上げること。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。



下書きの線は仕上げ後に消すこと。



受検番号 -

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

- ここから下は何も記入しないこと。

評価	<input type="text"/>
----	----------------------

チェック項目 (採点者用)

- 誤字・脱字
- バランス 重心、ふところの広さ
- 大きさ 大きさ、枠に対する付き、離れ
- エLEMENT エLEMENTの理解、統一
- ウェイト 太さの統一、濃度の調整
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合 将来性

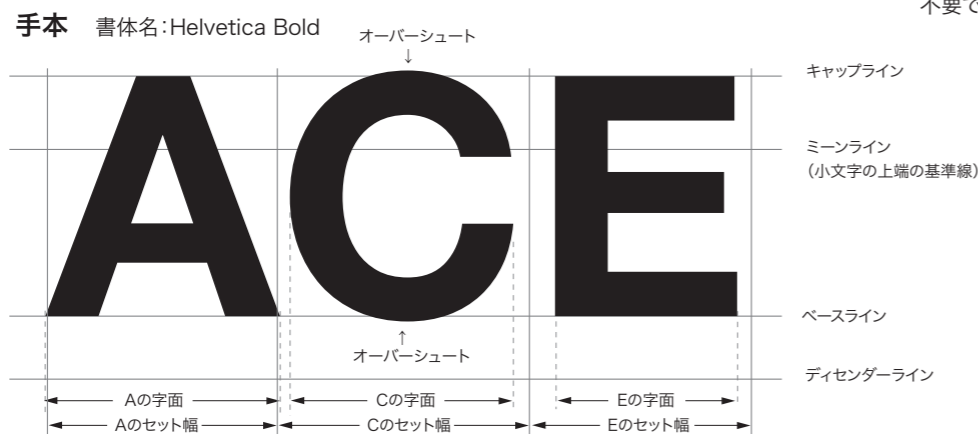
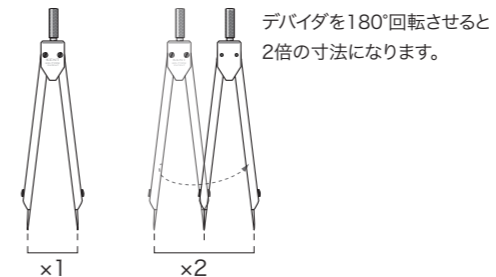
6 欧文基本書体の拡大視写

下の手本「ACE」の「A」を、下のライン上に拡大視写してください。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように仕上げること。
- 用具の使用は自由。
- 修整は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。

★ 次のヒントを参考にしてください。

- ① はじめは、ライン上におおまかに鉛筆デッサンしてみましょう。
- ② Aの横線(バー)は、左右の斜め線と太さに差があります。
- ③ スペーシングにも注意してください。
- ④ 直線、水平線、垂直線、平行線は必ず三角定規を使いましょう。
- ⑤ 手本の2倍の拡大視写なのでデバイダ(コンパスでも代用できます)で2倍寸にして、位置、幅、太さを確認すればこまかいマス目の分割は不要です。



AC間のスペーシングの再現。

下書きの線は仕上げ後に消すこと。

HelveticaのAはセット幅より字面が大きい文字です。斜め線とバー(横線)の太さに注意。→



受検番号 - - - - -

氏名

学校・団体名(個人受検者は記入不要)

※ 記入は略称でよい。

● ここから下は何も記入しないこと。

評価	
----	--

チェック項目(採点者用)

- 誤字・脱字
- ラインシステム 基本ラインの理解
- バランス 重心、ふところの広さ
- 大きさ ラインに対しての付き、離れ
- ウェイト 太さの統一、たて線、横線の太さ
- スペーシング AC間のスペーシング
- 仕上げ 仕上げの美しさ
- 総合 将来性

検 Y T K S N